

平成21年度後期松岡ゼミ履修指導

2009/06/15

※本日予定の履修指導は突発事情のため行えませんでした。中止の連絡を適時にできなかつたため、教室においでになつた方には無駄にお待ちいただく結果となり、誠に申し訳ありませんでした。以下に、例年より少しだけ詳しい文書を提示します。

1 募集人数

正規ゼミ生は前期同様、3・4回生あわせて22名まで。前期実績は、4回生の希望者が少なかったので、22名になるように3回生19名+4回生3名としました。

このほか、前期は助教2名とオブザーバー12名が参加していて、総勢36名でゼミ教室（法経北館3階第12演習室）が一杯です。後期も同程度の人数になることが予想されます。物理的にはほぼ限界です。

2 開講日時

毎週月曜日5時限目。

ゼミの性質上、終了時間は定時ではありません。今年度実績では、途中10分程度の休憩を挟んで、7時30分より前になることはほとんどありませんでした（最長は8時20分頃）。各人のやむをえない事情によって早退を認めることはありますが、このゼミを選択する人は、月曜日夕方には予定を入れてはいけません。

3 ゼミのテーマ

民法の現代的な諸問題。

前期のように、主として民法総則・物権法からという制約はなくなります。全民法領域から報告者グループが任意にテーマを選んでください（ただし、前期と重複するテーマは避けてください）。前期の分を含めて、10年間に取上げたテーマの例が、ホームページ（<http://www.matsuoka.law.kyoto-u.ac.jp>）のゼミの項に掲載しており、2008年度前期分には、Wordファイルのレジюмеもありますので、参照してください。

4 ゼミの基本方針

①楽しく懇親しつつ勉強すること

；コンパ・旅行等々の何らかのイベントが毎月あるという噂は今のところ本当です。

②ゼミの時間の内外を問わず積極的に発言し行動すること

；コンパ・旅行等の出席率は異様に高いです。前期は9月に北海道旅行を予定しています。

後期は例年2月末にどこか比較的近くに旅行というのが例年多いです。9月20日（土）18時からゼミOB総会があります。

③理由なく休まないこと

；事前の欠席連絡が不可欠。前期はインフルエンザの影響で風邪をひいて自重して欠席する人が延べ数名ありましたが、それ以外は、ほぼ全員皆出席でした。

- ④ 答案やレポート（ほとんど課題を出しません）は必ず期日に提出すること。
- ⑤ 相談等は気軽に、しかし原則としてメール等で予約して研究室（法経北館410号室）に。

5 標準的なゼミの進行方法

ゼミの進行は、標準的には、次のとおりです。3人1組（例外的には4人1組）の報告班に、希望のテーマについて、1週間前に配布したレジュメを基に報告していただきます。前期は、報告終了がおおむね6時30分前後。10分程度の休憩後、私（もしくは報告班）が作成した具体的設例を5～6グループで検討し、最後に全体で討論します。私は、修正・質問・補足説明・コメントをします。

定例の内容のほかには、インターカレッジ民法討論会（12月半ば過ぎ頃・龍谷大学）には参加しますし、1月の初回は山本敬三ゼミとの対抗討論会を予定しています。

6 ゼミ生の選抜方法

後期は、自己アピール文はありません（前期履修者について既によく知っていて公平な審査ができないためです）。一方、成績のみによる選考への批判に配慮して、**単純に抽籤**とさせていただきます。

前期履修者についても、制度の性格上、あらためて履修希望を出していただく必要がありますし、選抜につき、一切、優遇措置はありません。4回生の正規ゼミ履修希望者が増えた場合には、3回生の正規ゼミ生の数を本来の15名に限ることもあります。

7 オブザーバー決定と予備的打合せについて（重要）

ゼミの活性化の点で、単位に関係なく当ゼミに出たいという熱意がある者をオブザーバーとして教室のキャパシティの限度まで参加を認めます。現在の12名が限界に近く、座席数からみてせいぜいあと1・2名程度でしょう。

オブザーバーと正規のゼミ生の違いは、単位が出るか否かだけです。オブザーバーも均等に報告等の義務を負う反面、ゼミコンパ・旅行その他のゼミの行事に参加し、ゼミの運営につき等しく意見を述べる権利を保障します。

オブザーバーの参加の可否及び来年度ゼミのための予備的な打合せを8月の定期試験終了直後（8月6日（木）16時半から第12演習室）に行います。どうしても参加できない方は、参加する友人に委任するか、事前に私にご相談ください。

オブザーバーの決定は、自主的に辞退される方をまず除いて、なおキャパシティ以上になった場合、抽籤もしくはじゃんけん等によります。

8 連絡先

メール・アドレス matsuoka@law.kyoto-u.ac.jp または TBE00600@nifty.ne.jp